

知事記者会見（平成24年5月21日）

●知事発表

なし

●幹事社質問

- （1）給与削減にかかる職員への協力要請について
- （2）八幡平クマ牧場の事故への対応について

●その他

- （1）夏の節電対策について

時間：14：00～14：23

場所：プレゼン室

（幹事社）

まず1点目ですが、先週、職員に向けて給与を一定期間削減する方針を示して理解を求められました。

これについて改めて理由と、削減率や時期・期間など今現在のお考えがありましたらお聞かせいただければと思います。

（知事）

ここ1～2年の県議会とのやり取りの中で、給与削減の方向性を出すべきだという議論もありましたが、公務員給与の削減ありきという前提には立っていないということを、これまでも申し上げてきました。

その後、TDK、エルピーダの問題等々、今後大量の離職者の発生が予想される中で、県としても県民の生活基盤の安定のために雇用対策の強化は非常に重要ですので、県職員からの協力について一度検討をさせていただくことにしております。

まだ雇用情勢の悪化が続き、国に雇用対策の延長措置を強く求めています。原則的にはほぼ終わりだということでもあります。

平成24年度の当初予算にも一部予算化しましたが、今後の状況を考えますと、中高年を離職対象とする輸出型企業の雇用調整の動きもまだ潜在的にありますので、さまざまな県の雇用対策の措置が必要だという状況です。

このため、先般、職員組合及び職員に対して、給与面で、一定期間、直接的な雇用政策への資金という形で協力をしていただけないかと要請したところであります。

雇用対策といっても非常に広く、今後、本格的に組合との交渉に入るために、どの程度の規模が妥当で、県費から持ち出せるのがどのぐらいなのか等を含めて準備をしております。

すので、数字の面はもう少し先だと思っています。

いずれにしても、今年の9月以降の補正で少しずつ対応していかなければならないことも確かですので、何とか9月補正の前までには（組合と）妥結させていただければと思っています。

（幹事社）

9月補正の額とかはどれぐらいになりますでしょうか。

（知事）

そこもまだこれからであります。

ご理解いただきたいのは、平成21年4月以降、相当、管理職の職員を減らし、管理職手当も、恒久的措置として率を下げたほか、知事、副知事の給与も削減しており、そういうことも踏まえた上で行っていきますが、今は、まだ組合と認識を共有してからでないとも額はできません。

いつからどういう議題で（組合と）本格的な話をするかという事前交渉の段階です。

（幹事社）

幹事社からもう1点、鹿角市の八幡平クマ牧場の対応についてお聞きします。

今日の県政協議会や、午後の福祉環境委員会でもこの問題が審議されておりますが、県では非常勤職員の採用を検討し、今日の委員会でも具体的に3人の雇用を、報酬としては2ヵ月分を考えているということで説明がありました。

一方で、知事は県政協議会の議員からの質問の中で、ずるずると県がその対応を続けていくということは考えていないというふうに述べられており、その時期的なものとか、そういったところのお考えを聞かせていただければと思います。

（知事）

この問題も非常に古い時代から、いろいろ制度的なものや複雑な問題を抱えております。

通常であれば、今回のような事故がない状態で経営者が（廃園をすると）判断すれば、ある時点で安楽死という形が取られたと思います。

一方で動物愛護という点があります。野良犬でも野良猫でも捕獲した場合でも、すぐ殺処分はしません。

NPO等々との連携の中で、飼っていただける方を広報し、探しますが、どうしても現れないときは、費用もかかり、行政がいつまでも飼っておくわけにいきませんので殺処分にします。

今回の件は、これにやや似たような形じゃないかと思っています。

動物愛護の点から、飼っていただくところがないか探した上で、最後の手段をとるべきものと思っています。

最終的には所有者の権限ですが、動物園協会や幾つかの専門的なルートを通じて相談をしておりますので、ある程度、これはやむを得ないと確認できる時点までは、やはり生かしておくのが人情ではないのかということで緊急避難的に餌やりの監視等々、安全対策も

含めてやっていきたいということです。

呼びかけている結果が出る数ヵ月という間に最終的な方向を定めなければなりません。

所有者の方がそういうことはいらないとして殺処分することについては、その方に権限がありますので法律的に止めることはできませんが、クマ牧場を閉鎖したとしても、所有者に対し、最後の安住の地があるのかどうかについて配慮してほしいということを書いていかなければならないと思います。

クマを安楽死させるのはすぐでも可能ですが、それでいいのかということでもありますので、議会とも十分協議しながら、もし1頭でも2頭でも救える道があればというのが私の考えです。

(記者)

クマ牧場の件で関連してお伺いしたいのですが、動物園協会のそのほかのルートというふうにおっしゃいましたけども、そのほかのルートは何か具体的なものがあるのかということをお教えいただきたいのが一つと、今、数ヵ月の間に受け入れ先を探した上でとおっしゃいましたが、知事としては数ヵ月というのが一応ひとつのリミットだとお考えでしょうか。

(知事)

年を越し、冬場になるとまた対応が違ってきます。

緊急避難的な経費のかけ方という一つの限界がありますので、1年だとか2年という話にはならないと思います。

動物園協会以外にも、例えば、何らかの別の動物を飼っているところで、クマ1、2頭を、新しいものとして展示することもあり得るのではないかとということで、具体的にどこという話はしてはおりませんが、獣医師会や動物園協会、あるいはそれに詳しい方とお話ししながら、まず広報してもらおうということをおこなっております。

ある期間探してみても、全く反応がないとすると、その時点で次のことを検討しなければならないということになると思います。

(記者)

次のことというと、すぐさま殺処分ということになるんですか、それとも一応国の方とかに相談したりというステップを挟んで。

(知事)

国というよりも、アライブさん、動物園協会、獣医師会などの専門家の方々に相談する必要があると思います。

今の段階で、先のことについて、確定的なことは差し控えたいと思います。

(記者)

この夏の電力関係の話について、先ほど県政協議会では県としては目標は設定しないということで、ただ県庁では独自にやるということでしたけれども、大体何パーセントぐら

いとかそういう想定があるのかどうか教えていただきたいんですが。

(知 事)

県として、去年の（数値目標である）20パーセントの検証をしなければなりません。

暗すぎるだとか、夕方は真っ暗で階段でつまずきそうだとか、やり過ぎの面もございまずので、もう一回検証したいと思いますが、原発が全部止まって火力をフルに使うと、我が国の燃料が高騰し企業の経営を圧迫します。

数値目標の設定は、県の経費節減にもつながりますので、去年のような20パーセントという（高い）数値にはならないと思いますが、一定の数値目標を立てるよう、今検討している段階です。

(記 者)

ちょっとしつこくて申し訳ないですが、秋の経済雇用対策は、数十億円規模ということでもいいでしょうか。

(知 事)

世界の景気動向や雇用調整の動きなどを踏まえ、効果のあるものにするためには、少なくとも平成24年度の下期から25年にかけて、直接的な雇用対策だけではなく経済対策全体として、概算で数十億円程度の規模を想定しています。

(記 者)

確認ですが、来年度にかけてということになれば、それぐらいの規模にはなるということでしょうか。

(知 事)

なります。

(幹事社)

他になればこれで終了したいと思います。

(知 事)

はい、どうも。

(幹事社)

ありがとうございました。